

平成28年度 租税教育実践発表会

石巻地区租税教育推進協議会

次 第

1 開 会

2 開会挨拶 石巻地区租税教育推進協議会会長
(女川町教育委員会教育長)

3 発表者紹介

4 実践発表 石巻市立二俣小学校 教諭 川 元 一 恵
東松島市立矢本西小学校 教諭 及 川 美 恵
石巻市立河南西中学校 教諭 保 坂 敦 史

5 質 疑

6 閉会挨拶 石巻地区租税教育推進協議会副会長
(石巻税務署長)

7 閉 会

実践発表会資料

石巻市立二俣小学校

教諭 川元一恵 1

東松島市立矢本西小学校

教諭 及川美恵 8

石巻市立河南西中学校

教諭 保坂敦史 15

平成28年度

租税教育実践発表会資料



石巻市立二俣小学校

教諭 川元 一恵

1 はじめに

私たちが何気なく暮らしている日常社会では、安心・安全が当たり前のようになっていて、その事を普段は特に意識することはない。しかし、世界的に見れば、日本は安全な国として海外から高い評価を受けている。これは日本に住んでいる人々の規範意識や道徳性、勤勉性の高さが大きな要因である。そして、この安心・安全に暮らせる社会はどのようにして作られたのか考える時に、「税金」も大きな役割を果たしていると言えるだろう。教育、福祉等の公共サービスや道路を含めた公共施設が「税金」を使って賄われていることは周知の事実である。言い方を換えれば、「税金」によって、この安心・安全な社会が形成されていると考えることもできるのではないだろうか。

自分の担任する3学年の児童は、「税金」についての知識はほとんど持っていないと思われる。しかし、買い物等の経験から「消費税」という言葉は知っている。今回はこの「消費税」という言葉を手がかりにして、その意義や大切さに触れていきたい。児童の発達段階を考えると、詳しい知識を教えるだけではなく、体験を通して、より「税金」を身近に感じられるような工夫をしていく必要がある。そして普段の私たちの生活が「税金」によって成り立っていることを知ることで、税の大切さや必要性を感じられるようにしていきたいと思っている。

2 児童の実態

本学級は男8名、女5名、計13名である。児童に「税金」に関する実態調査を行ったところ、以下のような結果となった。

	質問事項	児童の回答
①	「税金」という言葉を聞いたことがあるか。	・ある (4名) ・ない (9名)
②	「税金」に関係するもので知っている言葉はあるか。 (選択式・複数回答可)	・消費税 (7名)・住民税 (3名)・納税 (1名) ・法人税 (2名)・税務署 (1名)・無答 (2名)
③	「税金」とは何だと思うか。	・消費税は必要だから払わなくちゃいけないお金 (1名) ・それにかかるお金 (1名) ・罰金 (1名) ・100円の物に8円プラスすること。(1名) ・お金のこと (5名) ・分からない (4名)
④	誰が税金を集め、何に使われているか。	・国 (6名)・県 (3名)・町 (3名) ・お店の人 (5名)・家族 (3名)・学校 (1名) ・大人の人 (1名)
⑤	「税金」は必要だと思うか。	・必要だと思う。(4名) ・必要ではない。(2名) ・よく分からない。(7名)

上記の結果から、児童は「税金」「消費税」「住民税」といった税に関する言葉を、日常の生活の中で聞いた経験はある。しかし、その意味や実際にどのように自分たちの生活に関わっているかはほとんど理解していない。ただし、少数ではあるが、買い物の経験から「消費税」については、「商品の値段とは別に払わなければいけないお金」という回答があった。また、「消費税は100円の物を買うと、税金を8円支払わなければいけない。」ということに気付いている児童もいた。

以上のことから、税金についてはほとんどの児童が正確な知識を持っていないが、消費税については漠然としていながらも、ある程度の知識は持っているということが分かる。租税教育を実施するにあたり、「消費税」を糸口にして税金の意味や仕組みを捉えさせていきたい。そのために、3学年の社会科「店ではたらく人」という単元を中心に、租税教育を実施していく。

3 指導に当たって

以上のような実態から、指導には以下のような手立てを工夫して指導に当たっていく。

- (1) 社会科の「店ではたらく人」という単元において、お店を出している広告のチラシを用い、「消費税」というものに気付かせる。
- (2) 同単元内において、社会科見学（スーパーマーケットの見学）の際、買い物体験を取り入れる。そこで「本体価格」と「税込み価格」の2つの表示があることに気付かせ、商品を購入する際には、「消費税」も一緒に払っていることを理解させる。
- (3) ゲストティーチャーとして税務署の方を迎えて、税金について詳しい話を聞き、その意味や仕組み、使途などを理解させる。

4 指導計画

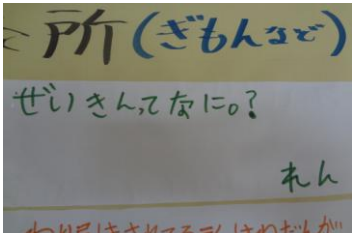


時 間	目 標	学習活動
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広告のチラシから、「本体価格」と「税込み価格」の2つの表示があることに着目し、「消費税」というものがあることに気付く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ スーパーマーケットの工夫の一つとして広告のチラシを利用し、商品の値段が2種類表示されていることに気付く。 ・ 「税金」という言葉を知らせ、商品を購入する際には「消費税」も一緒に支払っていることを理解する。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 買い物体験の練習を行い、「税込み価格」は「本体価格」に「×1.08」した値段になることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広告のチラシを見て、買い物体験の練習をする。品物を買うときに実際に支払う金額は、「本体価格」に「×1.08」したものであることを知る。 ・ チラシから買いたい品物を3つ選び、「本体価格」と「税込み価格」の違いに気付く。 ・ 税金が警察、消防、救急に使われていることに気付く。 ・ 学習感想を書く。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本にはどんな税金があり、税金は何に使われているかを知る。 ・ 税金がないとどんな社会になるかを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ※石巻税務署に依頼し、石巻法人会による租税教室を実施。ゲストティーチャーによる指導。 ・ 紙芝居「カッパのいたずら」を活用する。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実際にスーパーマーケットに行き、買い物体験をすることで、納税について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実際にスーパーマーケットで買い物をし、自分も社会の一員として税金を納めていることを実感する。

5 実践内容

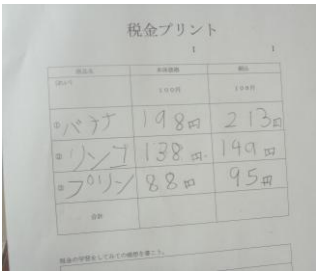
9月2日（金）実践

単元名 「店ではたらく人」






第1時 【お店の広告チラシを見てみよう】

学習活動	学習の様子
<p>1 普段よく利用しているお店を紹介する。</p> <p>2 スーパーマーケットでは、どんな工夫をしているか考える。</p> <p>3 広告のチラシから工夫点を見つける。</p> <p>4 気付いたことや疑問に思ったことを発表する。</p>	<p>○蛇田のイオン，ウジエ，生協，コンビニ等自分たちが利用している店舗を紹介し合う。</p> <p>○たくさんのお客さんに利用してもらうためにお店はどんな工夫をしているか考える。</p> <p>○工夫の一つとして広告のチラシを取り上げ、どのように工夫されているか調べる。</p> <p>○価格の表示が「本体価格」と「税込み」の2種類あることに注目し、「税金」の存在に気付く。</p>
	 

第2時 【買い物体験の練習をしよう】

学習活動	学習の様子
<p>1 消費税を知る。</p> <p>2 支払う金額を求めてみる。</p>	<p>○お店の表示には2つの価格表示があることを広告のチラシを見て確かめる。</p> <p>○品物を購入する際には、税込価格、つまり「本体価格+消費税」の代金を支払うことを知る。</p> <p>○電卓を使って本体価格に「×1.08」をすると税込価格が求められることを知る。</p> <p>○広告のチラシを見て、買いたい品物を決め、本体価格から税込価格の値段を求める。</p> <p>○本体価格と税込価格の違いを知る。</p>
	<p>○なぜ消費税を納めるのかという理由を、税金の使い道を知ることで確認する。</p> <p>※警察，消防，救急</p>
<p>3 消費税を納める理由を知る。</p>	

第3時【租税教室：わたしたちの生活と税】

学習活動	学習の様子
<p>1 本時の学習課題を知る。</p> <div data-bbox="279 313 794 430" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>わたしたちの生活と税金はどんな関係があるのか考えよう。</p> </div> <p>2 ゲストティーチャーを知る。</p>	<p>○石巻法人会の方を紹介し、税について学習していくことを確認した。</p> 
<p>3 ゲストティーチャーの説明を聞き、税金について考える。</p> <p>(1) 消費税は誰が作ったか知る。</p> <p>(2) 税金の使い道を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校 ○警察・消防・救急 ○公園 ○予防注射 ○街づくり <p>(3) 税金の大切さを紙芝居で知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○紙芝居「カッパのいたずら」を見る。 <p>(4) 1億円の重さを体感する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○お金の重さを体感するとともに、みんなから集めた税金の大切さを考える。 	<p>○消費税が作られた時の話を聞き、消費税の割合が始めの3%から、将来的に10%になることを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「あっ、ウイッシュのDAIGOだ。」 ・「DAIGOのおじいちゃんが作ったんだ。」  <p>○大人だけでなく、自分たちも消費税を納めていることを知り、税金がどのように使われているかを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「消防、警察に使われているんだね。」 ・「学校も税金で建てられているんだ。」   <p>○普段何気なく使っている水道にも、税金が使われていることを知る。</p> <p>○税金を納める意義や、税金によって私たちが受けている恩恵について考える。</p> 

第4時【買い物体験をしよう】

社会科の見学でスーパーマーケットを訪れ、その際に買い物体験を行った。店内では価格の表示が「本体価格+税」となっていて、電卓を使ってレジで支払う代金の計算を行った。これまで学習してきた税金を自分たちが実際に納めているという実感を持つことにより、今まで以上に税に対する興味が深まり、さらにその使い方について思いを馳せる良い機会となった。



6 児童の感想から

〈第1・2時を終えた段階〉

はじめて、税金のことを聞きました。今度、店に行ったら計算機を持って行って、ちゃんとお母さんに教えたいと思いました。

税金は高すぎることもあるからなくしてほしい。でも、何に役立っているか分からない。

税金はなぜ作られたのですか。税金はいらない？必要なんですよね！？

なぜ税金があるのか。

「+税」と書いてあると、値段が上がることもあるということを初めて知りました。

税金があると値段が上がるから、買い物するときは気を付けたい。

<第3時を終えた段階>

ぼくは今日、税金について学びました。
税金を初めて聞いたときは、「税金はいらない。」
と思いました。でも税金のことについて詳しく聞くと、
税金はとっても大切なんだなあと思いました。



ぼくは税金が大事なことが分かりました。税金はいろいろな物に使われていることが分かりました。学校や公園や身近な物に使われていることが分かりました。

ぼくが、3時間目に税金の勉強をして分かったことは、税金で建物や道路や公園が作られているということです。だから、税金を払っていると良い生活ができるのだなあと思いました。税金を払わないと、もし火事になっても消防車がないから大変なことになります。
税金の勉強をしてよかったです。

今日の税金についての授業は、とっても役に立ちました。なぜかという、税金のことを詳しく教えられたからです。だけど、この前は、

「ええ〜、100円だと8円プラスされるの？」

「税金なんて、いらない。」

などと思っていました。でも、今日の授業で、

「なるほど。税金があると建物が建てられるんだ〜。」

と思いました。

最初はいらないと思っていましたが、税金は必要なんだということが、よく分かりました。



<第4時を終えた段階>

ぼくの税金をいろいろな物に使ってほしいと思いました。

私はお買い物体験で税金を払いました。私の税金を国のために使ってほしいです。

7 実践を終えて（○は成果 ●は課題）

- 税について全く知識がない児童が多かったが、今回の租税教育を通して身近に感じる児童が増えた。
- 消費税を糸口に、税金の学習を行った。本体価格に「 $\times 1.08$ 」をする計算で税込み価格を出すことができること知り、買い物体験でも電卓を使って、品物を購入する際の代金を算出していた。
- 税金の使い道を知ること、学校で自分の身の回りにある物を大切にしようとする気持ちが、更に深まった。
- 「税金はいらないもの」から「税金は必要なもの」という意識の変化が見られた。
- 今回は消費税を中心に学習を進めたが、今後それ以外の税の種類を学んだり、地域における税の使われ方なども知ったりすることで、税についての知識がより深まっていくものと思われる。

平成28年度

租税教育実践発表資料



東松島市立矢本西小学校

教諭 及川 美恵

1 はじめに

税金とは、国の財政を賄う収入の最も主要なものであり、私たちが健康で心豊かに生活を送るために大切な役割を果たすお金である。私たちの生活は、教育、福祉、消防、警察などの公共サービスや、道路や橋などの公共事業によって支えられており、これらの費用のほとんどが税金で賄われている。しかしながら、現時点において、税金に関する児童の知識は曖昧で、自分たちの暮らしと税が密接な関係にあることに気付いていない児童が多い。

今回の租税教室では、「もし、税金が無くなればどうなるか」ということについて、自分たちの日常生活に置き換えて考えることにより、税の必要性を理解させていきたいと考えた。

2 児童の実態（男子14名、女子15名 計29名）

児童は、授業中は集中して話を聞き、落ちついた態度で学習に取り組んでいる。特に、6年生で始まった社会科の歴史分野についての学習を楽しみにしており、歴史上の人物や出来事について進んで調べようという意欲が高い。

今回、租税教育を行うにあたり、税金（税）について下記の内容でアンケート調査を実施した。
(平成28年6月16日実施)

- | |
|--|
| <p>1 「税」について思い浮かぶものはなんですか。（複数回答可）</p> <ul style="list-style-type: none">・消費税（11）・税務署（5）・お金をとられること（4）・税込み（2）・税抜き価格（2）・税率（1）・律令（1）・増税（1）・みんなが払うもの（1） <p>2 税金の種類で知っているものを書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none">・消費税（28）・関税（1）・所得税（1）・車の税（1） <p>3 税金はどこに納められていると思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none">・国や市（11）・銀行（7）・税務署（2）・学校（1） <p>4 税金は何に使われていると思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none">・教科書（5）・国民のため（5）・オリンピック（3）・道路や橋の修理（2）・公務員の給料（2）・復興（1）・選挙（1）・国の施設の建設（1） <p>5 税金の使い道はどこで決めていると思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none">・国会議事堂（12）・国の偉い人たちの会議（3）・税務署（3）・総理大臣（1）・天皇（1）・知事（1） <p>6 税金についてくわしく知りたいことはありますか。</p> <ul style="list-style-type: none">・どうして消費税を上げるのか。（3）・なぜ税金があるのか。（2）・税金はどこに納められているのか。（1）・税金の種類にはどんなものがあるか。（2）・1年でどれくらい税金が入るのか。（1） <p>7 税金は必要だと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none">・必要だと思う（16） <p><理由> 国のためだったら必要だから。困っている人を助けたいから。みんなの役に立つものをつくるためのお金だから。</p> |
|--|

- ・必要だと思わない（５）
- <理由>税金で困っているから。お金持ちがすべて払えばよいと思うから。
- ・分からない（８）

以上のような結果から、公民分野における税の学習は未習のため、関心が低く、知っていることと言えば「消費税」「税務署」「税込み」程度であること、また、歴史上の税に関する学習から、「税は取られるもの」「人の生活を苦しめるもの」といったマイナスのイメージが強いことが分かった。また、日常の生活の中で税を意識することはほとんどなく、税金は必要だとは思いますが、税金が自分たちの生活を支えていることを実感している児童はほとんどいなかった。

3 社会科との関連

(1) 日本の歴史

- 天皇中心の国づくり「大化の改新と天皇の力の広がり」「仏教の力で国を治める」
 - ・国を治めるためにどのような法律が作られ、物の流通があったかについて調べる。
(律令, 租・調・庸)
 - ・都のにぎわいとそれを支える地方の人々の暮らしについて調べる。
(重い税の負担)
- 3人の武将と天下統一「大阪城と豊臣秀吉」
 - ・豊臣秀吉は、天下統一をするために、どのようなことを行ったのか調べる。
(太閤検地)
- 江戸幕府と政治の安定「人々のくらしと身分」
 - ・家光を中心とする江戸幕府が、どのように百姓や町人などを支配したのかを調べる。
(年貢, 五公五民)
- 明治の国づくりを進めた人々「大久保利通と明治新政府の改革」
 - ・欧米に学んだ大久保利通らが、どのような国づくりを目指したのかを調べる。
(地租改正)

(2) わたしたちの生活と政治

- 子育て支援の願いを実現する政治「税金の働き」
 - ・子育て支援センターを建設、運営するための費用がどこから出ているのかを調べる。
 - ・税金の集められ方と使われ方について調べる。
 - ・税金がなかったらどうなるのかを考え、税金の役割について話し合う。
- 震災復興の願いを実現する政治「災害復旧に向けた国の支援」
 - ・災害からの復旧・復興に向けた国の取組を調べる。(補正予算)

4 指導に当たって

指導に当たっては、以下のことに留意して学習を進めていきたい。

- 日本の歴史の中で「租・調・庸」「年貢」などの税が古くからあったことを想起させ、税に関する関心を高めるようにする。
- 外部講師による租税教室（出前授業）を実施することにより、税に対する興味や

関心を高め、身近な生活と税との関わりや税の必要性を理解させる。
 ○学習した内容を作文や絵はがきなどで表現し、税に対する理解と関心を深めさせるようにする。

5 指導計画（3時間扱い）

	学習内容・学習活動	指導上の留意点	評価規準
事前指導 (業前)	○「税に関するアンケート」を実施する。		
税について考えよう(1)	○外部講師による租税教室を通して、税が自分たちの生活に密接に関わっていることや税の必要性について理解する。 ○税がないとどうなるかまとめる。	・視聴覚教材(DVD)を活用することで税が自分たちの生活と密接に関わっていることや税の必要性などについて理解させる。	(知識・理解) 自分たちの生活と税の関わりについて理解している。
税について理解を深めよう(1)	○租税教室で学習した内容の確認を行い、自分たちの生活と関連させながら税と自分たちの生活が密接に関わっていることを理解する。	・小学校社会科用学習資料「わたしたちの暮らしと税金」、国税庁「税の学習コーナー」を活用する。	(知識・理解) 自分たちの生活と税の関わりについて理解している。
税の大切さを伝えよう(1)	○税に関する絵はがきコンクールに向けての作品づくりを通して税の大切さについて考え表現する。	・自分なりの表現方法で作成させる。	(思考・判断・表現) 税の大切さを絵や標語等で表現している。



6 実践内容【租税教室】 実施期日：平成28年6月17日(金)

(1) 目標

自分たちの生活と税が密接に関わっていることを知り、税の必要性について理解する。

(2) 本時の展開

	学習活動・学習内容, 児童の反応(※)	指導上の留意点
導入	1 本時の学習課題を確認する。 自分たちの生活と税金の関わりを考えよう	・外部講師を紹介する。
	2 外部講師から税に関する話をしていただく。	

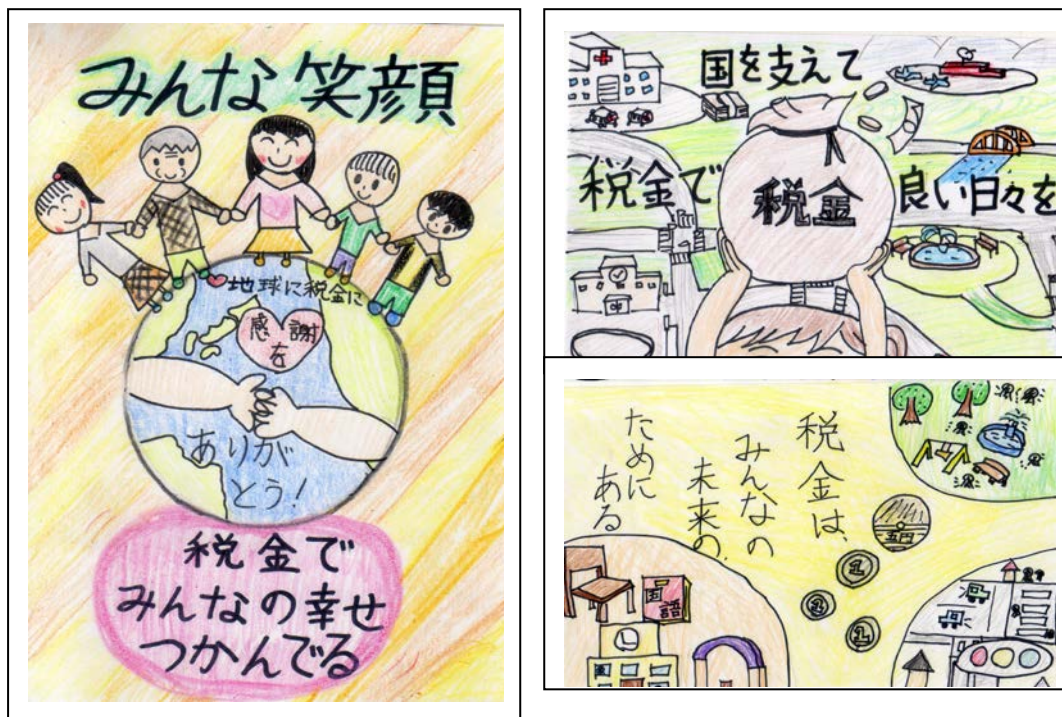
<p>展 開</p>	<p>3 外部講師の説明を聞き、税金について考える。</p> <p>(1) 知っている税金を発表する。 ※消費税, 車の税など。よく分からない。</p> <p>(2) 学校と税金の関わりを例に, 身近な税金の使い道を理解する。 ※実験で使う顕微鏡4万2千円は, サラリーマンの1ヶ月のお小遣いより高い。 ※1年間の教育費, 小学生約86万円。教育にお金がかかっているなんて知らなかった。</p> <p>(3) 税の歴史を知る。</p> <p>(4) 税金の種類について知る。 ※約50種類も税があるなんて思わなかった。</p> <p>(5) 世界の消費税について知る。 ※国により税率が違う。日本より高い国もあるんだ。 ※税率の高いデンマークでは, 税を何に使っているのかな。</p> <p>(6) 税金の使われ方について知る。 ※学校を建てるのに約10億円もかかる。 ※一億円の量と重さを体感し, 高額な金額に実感を持った。</p> <p>4 DVDを視聴し, 税の必要性を考える。</p> <p>(1) DVD「マリンと不思議な日曜日」を視聴する。</p> <p>(2) もし, 税金がなかったらどうなるかを考える。 ※税金がないと困る。(ゴミを収集してもらえない。消防活動が行われない。公園がない。など)</p>	<p>☆一億円のレプリカ</p>  <p>☆国税庁DVD「マリンと不思議な日曜日」</p> 
<p>ま と め</p>	<p>5 学習のまとめをする。 「税金は, みんなが力を合わせていい社会をつくるためにあるんだね。」</p> <p>6 次の予告をする。</p>	<p>・国税庁のHP「税の学習コーナー」で, 税に関する理解を深めていくことを伝える。</p>

○児童の活動の様子

☆小学校社会科用学習資料「わたしたちの暮らしと税金」や, 国税庁「税の学習コーナー」の活用



☆税に関する絵はがきコンクールへの作品（9月応募）



☆租税教室実施後の感想作文から（一部抜粋）

最初は「税金なんてなければ、お菓子やジュースがもっと安くなるのに」と思っていました。でも、税金がないと道路が造れなかったり、オリンピックができなくなったりすることが分かりました。

教えてもらう前は、消費税は多少必要かなということくらいしか考えていませんでした。しかし、学んだ後は、とても重要なものだ分かりました。疑問だった「どこにおさめられているのか」「どのような人が税を決めているのか」なども理解することができました。

DVDで見た「税金のない世界」では、救急車を呼ぶのにも、横断歩道を渡るのにもお金がかかっていて、税金がないと生活が困難になってしまうことがよく分かりました。

学校を造るには10億円もかかります。一部の人が払ったら大変な金額になってしまいます。だから税金は必要だと思いました。これからは、学校や学校の物、公園などを大切にしたいと思いました。

今私たちは、税金があるおかげで不便なく暮らすことができます。大人になったら税金を払います。

自分や人々のために税金が必要なので、責任を持って税金を払うことが大切だということが分かりました。これからは物を買うときに「高い」とか言わないで、「私たちの安全のためなら安いよ」と思えるような人になりたいです。

○まとめ（実践を終えて）

- ・租税教室を実施した時期が6月半ばということもあり、社会科における税の学習は未習であった。しかし、「租・調・庸」や「年貢」などが、今なぜ税金というお金で集めるようになったのかなど、税の歴史をたどることで、時代ごとの税に対する興味関心を高めることができた。
- ・外部講師の話聞くことで、税に関する専門的知識を得ることができ、税の必要性を強く意識させることができた。
- ・学校と税金という自分たちの身近なテーマで考えることにより、税に関して分かりやすく考えさせることができた。
- ・世界の消費税率や税の種類を知ることで、世界諸国の社会のしくみや文化の違いなどについて興味関心を高めることができた。
- ・視聴覚教材は、「税金がなくなったら、どんな生活になるのか」を考えさせる効果的な内容であり、納税の義務を意識するものとなった。
- ・税の大切さを理解することで、公共施設などの税で賄われているものについて、大切にしようという意識が高くなった。また、将来は自分が納税者として国民の義務を果たしていこうという思いを持つようになった。
- ・租税教室の後にも、小学校社会科用学習資料「わたしたちのくらしと税金」や、国税庁のHP「税の学習コーナー」を活用することで、税に関する学習を深めることができた。

○最後に

今回租税教室を行うことで、「税は人々を苦しめるもの」というマイナスのイメージから「みんなの生活を支える大切なもの」というように意識が変わった。税に関しては今回の授業で終わりにするのではなく、今後も社会や政治の動向に目を向けさせながら、税を通して社会や国の在り方について考えさせていきたい。そのことによって、社会的義務や責任を果たそうとする大人に成長していくものと願っている。

最後に、児童と共にこのような貴重な学習の機会をいただけたことに感謝したい。

税金の種類と消費税を考える学習活動を通して
納税の大切さに気づく授業

石巻市立河南西中学校
教諭 保坂 敦史

1 はじめに

税金を納めることは、国民の三大義務「勤労・納税・教育」のうちの一つである。税金は政府が行政サービスを行う上で必要なものであるが、どのようなところで、どのように使われているのかを具体的に認識している生徒は少ない。「消費税」については、生徒自身も負担をしているにもかかわらず、徴税の目的を知らない生徒も少なくない。

税金については第3学年の「公民的分野」で学習する。今回は、税金にはどのような種類があるのかを理解させ、更に税金を納めることが大切であることを意識させたいと考えて授業を行った。

2 生徒の実態

本学級は第3学年男子20名、女子18名、計38名で構成されている。社会科においては、意欲的に取り組む生徒が多い。

租税教育を行うにあたって、税金に関するアンケート調査を実施した。以下はその結果である。

回答生徒 37名／38名

問1 税金についてどのようなイメージをもっていますか。
公務員の給料（13人）、お年寄りの年金（8人）、8%に上がった（3人）、払うのがたいへん（2人）、国民が負担している（11人）
問2 税金の種類について知っているものはありますか。（複数回答）
消費税（37人）、自動車税（5人）、関税（3人）、たばこ税（8人）、所得税（4人）、住民税（2人）、所得稅（1人）
問3 税金がどのように使われているか知っていることはありますか。
生活を便利にするため（9人）、国民の生活のため（5人）、道路や橋をつくる（4人）、お年寄りの年金（4人）、建物をつくる（3人）、よくわからない（6人）、無駄なことにも使われている（6人）
問4 あなたは消費税を納めることに積極的ですか、消極的ですか。
積極的に納めたいと思っている（25人）、積極的に納めたいとは思っていない（12人）

3 指導にあたって

現在公民的分野の学習を行っている。生徒に関心を持たせるために、新聞やニュースで取り上げられている話題を授業で紹介したり、生徒自身に新聞を読んだり、ニュースを見たりするように声かけをしている。

事前アンケートの結果から、今回の税金に関する学習では、税金についてのイメージが様々であること、税金の種類にはある程度の理解があるものの、どのように生かされているのかについては理解が乏しいことがわかった。また、税金を納めることについての意識の差もあることから、税金の必要性についての知識が身に付いていないことがわかった。

本学習では、「税金が無かったら、世の中はどうなるだろう。」というテーマを設定し、話し合いによって生徒たちの考えを引き出すことで、税金への関心を高めたい。そして、生徒たちに最も馴染みがある消費税を扱い、消費税について考えることを通して、税金を納めることの大切さを理解させたい。

4 授業計画

時間	学習内容	主な学習活動
1 (本時)	「税金」について考えよう。	<ul style="list-style-type: none">・「税金が無かったら、世の中はどうなるだろう。」というテーマで、グループで話し合う。・税金の種類を知る。・身近な消費税から、徴税の目的について考える。
2	「税金」はどのように私たちの生活と結びついているかを考えよう。	<ul style="list-style-type: none">・税金の使い道について考える。・私たちの身近にあるものと税金との関係を理解する。・なぜ税金には増やすものや減らすもので違いがあるのかを考える。

5 指導過程 (1/2 本時)

学習活動	指導上の留意点
導入 税金について知る。 本時のねらい：税金について考えよう。	<ul style="list-style-type: none">・税金について、大まかな説明をする。
展開1 税金のあり方について考える。 「税金が無かったら、世の中はどうなるだろうか。」について考える。	<ul style="list-style-type: none">・グループを組んで、話し合い活動を行う。

(予想される答え)

公務員の給料が下がる，生活に大きな支障が出る。

2 税金の種類について学習する。

・税金の種類についての基本的な事項を学習する。

① 聞いたことのある税金を確認する。

酒税・たばこ税・自動車税・関税など

② 国税と地方税（納税先の違い）

③ 直接税と間接税（担税者と納税者の違い）

3 なぜ，消費税を徴税しているのか，話し合ってみよう。

(予想される答え)

年金，治療費，給料

終結 4 授業を振り返り，税金についての感想を記入する。

・机間指導を行い，助言をする。

・国税庁「宮城県 私たちの暮らしと税」を資料として用いて概要を理解する。

・生徒にとって身近な消費税を取り上げて考える。



6 事後アンケートの結果から（一部抜粋）

回答生徒 37名／38名

問1 授業を終えて税金についての考えを書こう。
・税金を納めることをあまり考えたことが無かったが、税金が必要だとわかった。
・税金は国が好きのように使うイメージがあったが、私たちの生活に結び付いていることがわかった。
・税金が無いと生活が不便になるから、税金は必要だと思った。
・税金の使い道について改めて知りました。友達の見解から、税金の色々な使われ方がわかることができました。
・税金は必要なお金だとわかったけれど、人々の負担も考えないといけないとも思った。
・税金は公務員の給料という考えしかもってなかったけれど、友達と話し合っ、様々なことに使われていることがわかった。
・税金を納めないと、自分たちの生活が大変になるので、税金は必要だと思った。
問2 あなたは消費税を納めることに積極的ですか、消極的ですか。
積極的に納めたいと思っている（37人） 積極的に納めたいとは思っていない（0人）

7 ○成果と●課題

- 税金について生徒に意見交換をさせながら授業を展開したことで、税金の疑問について解決することができた。
- 身近な消費税を扱ったことで、活発な話し合いを行うことができた。また、税金を納める重要性を理解することができた。
- 税金が「生活に役立っている」、「大切なものである」という意識をもたせることができた。
- 今回の授業では、グループでの話し合いをメインに行ったが、今後はICT教材などを用いて、租税教育を継続的に行っていきたい。

